

妊婦・小学生までのお子さんがお住まいの住宅の除染を行います。

ご自宅の放射線量を市で測定し、高さ50cm(市の独自基準)で毎時0.23マイクロシーベルト以上の場合、後日、市で除染を行います。

10月22日(月)までにお申し込みください

◎対象

妊婦・小学生までのお子さんがお住まいの住宅

7月の募集(対象…妊婦・小学校入学前のお子さんがお住まいの住宅)で申し込まれていない方は、この機会をご利用ください。

◎申込方法

10月22日(月)必着で、市ホームページのトップページ左上の「放射線量測定申込書」から電子申請または申込書※に必要事項を明記の上、ファクス、郵送、放射能対策室もしくは各行政サービスセンターに持参。

※放射能対策室および各行政サービスセンターで配布。

または市ホームページからダウンロード。

◎お申し込みにあたってのご注意

- ・7月の募集で測定済みの住宅の再測定は行いません。
- ・電話での受け付けは行いません。
- ・窓口でのお申し込みは混雑が予想されますので、できる限り電子申請かファクスでお申し込みください。
- ・分譲マンションの場合は管理組合名でお申し込みください。
- ・賃貸住宅(集合住宅・戸建)の場合は所有者の同意を得るか所有者名でお申し込みください。
- ・測定は申込順ではありません。測定日時については、後日連絡します。

☎・☎ 放射能対策室 ☎7185-2495、☎7185-5869、〒270-1192放射能対策室(住所省略可)

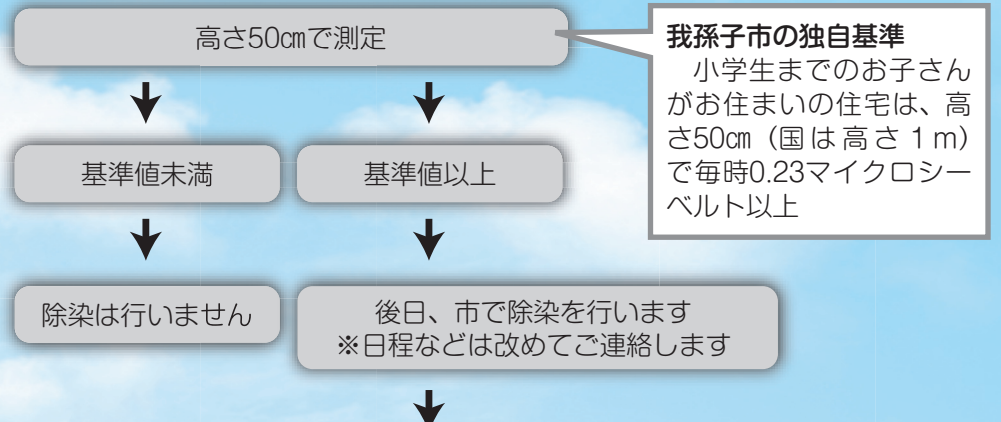


電子申請 QRコード

測定から除染までの流れ

測定

市からお知らせした日時に、市職員または委託業者が測定に伺います。申込者立ち合いのもとで敷地内の複数の地点の放射線量を測定します。



除染

雨どいや雨水マスの清掃、落葉の除去、除草など、簡易な作業を予定しており、重機などは使いません。なお、除染により発生した土や汚泥は、埋設などにより敷地内に保管していただきます。

申込件数や測定および除染の進捗状況をみながら、今後、対象を拡大して追加募集を行う予定です。詳しくは、広報あびこや市ホームページなどでお知らせします。

小・中学校、保育園、幼稚園、子育て支援施設の除染が完了しました

小・中学校は8月末に、保育園、幼稚園、子育て支援施設は9月末に除染を完了しました。いずれの施設も市の独自目標である地上5cmで毎時0.23マイクロシーベルト未満を達成しています。



▲除染の完了した我孫子第一小学校

☎ 小・中学校…教育委員会総務課 ☎7185-1110、保育園・幼稚園・子育て支援施設…保育課 内線445

(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名	除染前 (平成23年6月)	除染後 (現在)	施設名	除染前 (平成23年6月)	除染後 (現在)
我孫子第一小	0.36	0.05	久寺家中	0.34	0.08
我孫子第三小	0.32	0.06	白山中	0.38	0.06
高野山小	0.46	0.06	根戸保育園	0.51	0.12
根戸小	0.35	0.07	つくし野保育園	0.40	0.14
並木小	0.51	0.06	寿保育園	0.39	0.11
布佐南小	0.36	0.07	並木保育園	0.44	0.13

※いずれも校庭・園庭中央での高さ5cmの測定値。※除染前の放射線量が特に高かった施設を掲載。上記以外の施設の放射線量など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

千葉県が放射性物質を含むごみ焼却灰の一時保管に係る住民説明会を実施

9月18日(火)午後6時30分から布佐南小学校体育館において、千葉県による手賀沼終末処理場への放射性物質を含むごみ焼却灰の一時保管に関する2回目の住民説明会が行われました。

今回の説明会は、前回対象とした隣接する2自治会から6自治会と対象範囲を拡大して行われ、当日は約140人の住民の参加がありました。

県による放射能に関する知識や一時保管計画の説明後質疑が行われ、自然災害による施設の耐久性や安全性、放射性物質による被害が出た場合の補償問題、さらには、国の最終処分場が決まらないことにより、一時保管が恒久的になるのではないかなど、計画に対する多くの不安と反対の声が上がりました。

説明会の主催者である千葉県からは、搬入・保管・搬出も含め責任を持って管理していくとの回答がありました。

しかし、こうした県の回答は、参加した住民の不安を払しょくするものではなく、市としては、引き続き住民に対する丁寧な説明と他の候補地の確保を千葉県に求めています。さらに、最終処分場候補地の提示を国及び千葉県に対し強く求めています。

☎ クリーンセンター ☎7187-0015

ホールボディカウンタ測定結果(平成24年4月1日~9月14日)

8月1日発行の放射能対策ニュースNo.5に掲載した8月10日までの測定結果では、放射性セシウム137が8人から検出としていましたが、測定機関において、6月28日から7月8日までの間、機器の故障により正しく測定されていないことが判明しました。この間に測定された方を再測定した結果、「検出」は6人となりました。

※1 「検出せず」とは、測定機器の「検出限界値以下」を表しています。また、検出限界値は、被測定者の体重、年齢、測定時間などの条件によって異なります。

※2 放射性セシウム137が、それぞれから3.65~6.04ベクレル/kg検出されましたが、いずれも預託実効線量は0.1ミリシーベルト未満でした。

参考:福島県が実施した県民4万5694人の内部被ばく検査における預託実効線量は、1ミリシーベルト未満が4万5668人、1ミリシーベルト以上が26人で、「全員、健康に影響が及ぶ数値ではありませんでした」と公表されています。

(注) 預託実効線量…体内に取り込まれた放射性物質により、長期間に人体が受ける内部被ばくの影響を評価する基準として、摂取後、大人は50年間、子どもは70歳になるまでに受ける線量を最初の1年間で受けた(預託)として計算される量です。

市内に測定機関が開設されました

測定機関名・費用	場所	受付・実施時間
我孫子放射能計測センター ☎7182-0588 3000円	我孫子市柴崎台3の5の20 ※天王台駅北口から徒歩10分	(木)土を除く10時~18時

☎ 健康づくり支援課 ☎7185-1126

	測定者数 (人)	放射性セシウム 137		放射性セシウム 134		検出された方の預託実効線量(注)		
		検出せず※1	検出	検出せず※1	検出	0.1mSv未満	0.1~1mSv未満	1mSv以上
妊婦	6	6	0	6	0	-	-	-
乳児(0歳)	2	2	0	2	0	-	-	-
幼児(1歳以上就学前)	54	51	3※2	54	0	3※2	-	-
小学生	63	61	2※2	63	0	2※2	-	-
中学生	9	8	1※2	9	0	1※2	-	-
高校生相当	0	0	0	0	0	-	-	-
合計	134	128	6	134	0	6	-	-

市では、妊婦または高校生相当までの年齢にある子どもを対象に、ホールボディカウンタによる内部被ばく線量測定費用の一部を助成しています。☎ 健康づくり支援課 ☎7185-1126